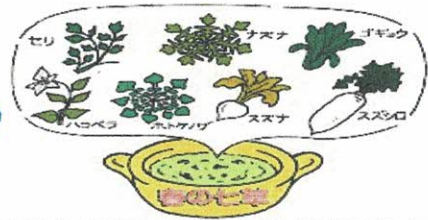


賀正

今年もよろしく

木知原の今昔！

4号：5・1・5



七草粥 いかがですか

1月7日 (人日の節句) 5節句の一つ

七草粥。食した記憶はないが早春に芽吹く「春の七草」は邪気を払い無病息災とのこと。
 その七草の一つ「ホトケノザ」が見つからない。そのはず！七草粥は旧暦の慣習だから1月初旬では株は小さく花もないので詳しい方でないと難しい。(今年は1月28日が旧暦7日)
 よく見ると“なるほど”と和名の発想に感心したので時節柄知ったかぶりの話題としました。
 (そんなことも知らなかったのか・・・と笑われるかな！お正月気分であまあ・・・)



✳ **葉の広がる様子が“仏の台座”に似ていることから和名で「ホトケノザ」と言う。**木知原では水田に多く自生する一年草である。
 ? まぎらわしいのは下の写真の草も「ホトケノザ」と呼ぶのでその区別のために、古来のホトケノザを「**田平子**」(コオニタビラコ)と改名したとのこと。
 ♡ 葉と言うかそのジクが台座のように見事に広がり2月中頃に黄色の花を咲かせる。前田でよく見かけるが圃場整備でどうなるかな～。



✳ **花を囲む葉の形が“仏の台座”に見えることからの名。**
 ♪ 左花は葉や花が段々についていることから「**三階草**」とも呼ばれ、土手や畑によくみられる。(オドリコソウも極似)
 ♡ この草を本来の「ホトケノザ」と間違えて粥に入れる人もいますが、毒気は無いのでOKだそうである。でも気分は今一？
 ♡ “全て雑草”の私には身近な自然でありながら知らないことがいっぱいである。



☐もう一話・・・



オオバコが危ない！

大葉子はさすが私でも知っている。知らない人はいないかもね・・・。
 今このオオバコが木知原から消えかかっている。ホント！

♪ 「オオバコ」は「**車前草**」とも言って、牛馬・車・人が踏みつけるところに繁茂する草で農道ならばどこにでも生えていた。ところが今は踏みつけるものがないので余り見かけなくなった。それに代わって見栄えの良くない外来種の**ツボミオオバコ**が畔や河原に繁殖し



♡ 大葉子以前にヤマトナデシコ・ツクミソウ・ネジバナなどはすでに絶滅。
 また、タンポポやハハコグサ・チチコグサは8割近くが外来種となっている。
 ♪ 陸ばかりではない根尾川も多くの魚類が絶滅し死の川化となっている。仕方ないことであるがこれも「木知原の今昔」の話題の一つかな。